

Ⅲ 政策資源の効果的活用

道財政が危機的な状況に直面している中、多様化する行政ニーズに的確に対応した施策展開を図るためには、限られた政策資源（職員、ノウハウ、資産など）をこれまで以上に有効活用していかなければなりません。

このため、国や公的機関の補助金等の積極的な活用はもとより、特区制度などを踏まえた規制緩和や制度改善などの提案・要望を積極的に行うとともに、「赤れんがチャレンジ事業」の実施など、道庁が有する資源を効果的に活用した施策を推進するほか、民間の有する知識・経験などを結集し、創意工夫をこらした政策展開を図ります。

1 庁内資源の有効活用（「赤れんが・チャレンジ事業」の推進）

特別な予算措置を伴わず、道庁が有する人材・施設などの資源を活用し、政策課題の解決を目指す「赤れんが・チャレンジ事業」の取組を推進します。

平成23年度に実施する主な施策

<震災関連>

- ◎ 被災避難者への家電・家具提供の支援 - マッチングサイト「助けあい北海道」の設置 - 【総合政策部】
東日本大震災により、北海道に避難されてきた方々の、家具・家電など生活用品を充足させるために、道民からの善意での無償提供情報を掲載するサイトを設置し、出し手・受け手のマッチングを行う。
- ◎ 被災避難者への情報提供 - 「東北・北海道 ふるさとネット」の放送 - 【総合政策部】
東日本大震災により、北海道に避難されてきた方々に対して、生活支援情報や被災地情報などを提供する番組を、J C B A日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会との連携により放送する。

<職員の技術・経験・知識の有効活用>

- ◎ 赤れんが夜学校 ～開拓使文書を読む～【総務部】
文書館が所蔵している開拓使文書をテキストとして使用し、受講者が発表する時間を設けるなどゼミ形式で古文書解読の学習を進める講座を開催する。
- ◎ ボランティア植樹でのエゾシカ食害対策の取組【水産林務部】
ボランティアにより植栽した樹木をエゾシカ食害から防ぐため、使用済みのペットボトルを加工した防護用チューブを活用するなど、安価で、容易にできる食害対策の普及啓発を行う。
- ◎ 森や木を使った地域づくり発掘プロジェクト【水産林務部】
森や木を使った地域づくりの事例を発掘・紹介し、地材地消の取組を地域へ波及させるとともに、試験研究機関の成果を活用した森林づくりなど、新たな地域おこしの提案も行う。
- ◎ 青年林業士育成強化事業【水産林務部】
道が認定した「北海道青年林業士」を対象に研修会を開催して、森林・林業に関する技術や知識の向上及びリーダーとしての自覚の醸成を図るなど、地域のまとめ役となる若手リーダーとして活用できる人材を育成する。
- ◎ 「治山の森」における森林づくり促進事業【空知総合振興局】
道民の森・神居尻地区（当別町）に所在する「治山の森」を活用して、森の観察会等のイベント開催に併せ治山事業のPRを行うことで、山地災害等に対する治山事業の必要性や役割、森林づくりの重要性について、道民理解の促進を図る。
- 障害福祉サービス事業所に対する農業技術等の専門機関紹介・助言事業【胆振総合振興局】
障害福祉サービス事業所等が農業分野の就労・授産科目を実施する上で生じる課題に対して、農業技術や農業経営の専門家である農務課及び胆振農業改良普及センター等が連携してアドバイスすることで、農業分野の品質向上や生産性向上を支援する。

◎ 地域新産業創出制度活用促進事業【胆振総合振興局】

地域資源を活用した新たな取組を支援するため振興局が所管する制度を取りまとめたガイドブックを作成・配付するとともに、地域からの要望に応じ、職員が事業者が行う会議・研修会などに出向き、制度の説明や活用に向けた相談を行う。

◎ おいしい米づくりのための支援活動【胆振総合振興局】

おいしい米づくりのため、水田の管理作業を紹介した冊子を作成し、地元農家との打合せや地域懇談会等の場で配布するとともに、管理に関する助言等の支援を行い、水田における排水機能の維持保全の重要性を普及啓発する。

◎ 日高の林野火災予防意識普及啓発事業【日高振興局】

子どもたちに林野火災予防に関する作品の応募を呼びかけ、優れた作品を表彰し、次代を担う子どもたちの森を守り緑に親しむ心を育む。

◎ 「公園の森（治山の森）」活用促進事業【十勝総合振興局】

鹿追町の公園の森（治山の森）を活用して森林学習会等を開催し、治山事業による山地災害の復旧状況を説明するなど、自然災害に対する治山事業の必要性や森林の多面的役割について道民理解の促進を図る。

◎ 学校連携食育教室事業【根室振興局】

稲作には適さない冷涼な別海町において、地域住民や上風連小学校と連携し、子どもたちに日本人の主食であるお米について学んでもらう稲作体験学習を行う。

< 道有施設等の有効活用 >

◎ みどりに親しむクリスマス【後志総合振興局】

クリスマス時期に合わせ、庁舎道民ホールに間伐材を利用したクリスマスツリーや間伐材製品を展示するとともに、森林に関するポスターの掲示などを行い、地域の子どもたちによるツリーの飾り付けや木育体験を通じ、広く道民の森林に対する関心を高めていく。

□ るもい地産地消推進事業【留萌振興局】

留萌合同庁舎内に管内の市町村等が地域の食材を用いて製造した食品や地元で生産された農水産物の展示販売の場を設け、管内の食品や食材の周知を図ることにより、地産地消を推進する。

□ ロビーdeクリスマスinオホーツク【オホーツク総合振興局】

オホーツク産クリスマスツリーの設置を核として、木のおもちゃや木工品、その他森林や林産物にまつわる様々な展示を行うとともに、体験スペースやイベントを通じて、森林、林業、林産、木育などの普及啓発とオホーツクブランドの浸透を図る。

< 推奨や選定機能の有効活用・情報の発信 >

◎ 赤れんが通信【総合政策部】

中国、韓国、カナダの国際交流員が、自らの視点を活かしながら、中国語、韓国語、英語で定期的に本道の魅力を発信し、各地域との一層の友好親善につなげる。

◎ 道有林森林吸収源整備促進事業【水産林務部】

道有林の整備により発生した温室効果ガスの排出削減・吸収量について認証（クレジット）を取得し、カーボンオフセットに取り組む企業に販売する。

◎ 北海道景観づくりサポート企業登録制度【建設部】

良好な景観の形成を図るため、景観づくりの活動に取り組んでいる企業を北海道が登録し、登録企業に対して支援を行う。

□ 森の見える家づくり【空知総合振興局】

住宅を新築する際に、建築（構造）材を立木の状態から伐採、製材されてマイホームが建築されていく過程を施主に見せることで、管内で生産される安心で安全な木材の消費拡大を図る。

III 政策資源の有効活用 ～ 1 庁内資源の有効活用（「赤レンガチャレンジ事業」の推進）

◎ 胆振管内の授産製品PR事業【胆振総合振興局】

職員や地域住民の障がい者に対する理解を深めるとともに、福祉施設・事業所で働く障がい者の就労意欲の喚起や、各施設・事業所間の交流、販売拡大による工賃（賃金）向上を目的に、胆振総合振興局のホームページを活用し、授産製品のPRを行う。

□ 上川管内風景画像等発信事業【上川総合振興局】

職員が撮影した管内の美しい風景や個性豊かな地域資源の画像を上川総合振興局のホームページで公開し、道内外へ上川地域のPRを図る。

◎ 宗谷の「食」魅力発信事業【宗谷総合振興局】

「食」に関するイベントを通じて得た地元の食材の美味しい食べ方の情報などをホームページや掲示板等を通じて広く周知し、宗谷の「食」の魅力を発信する。

<民間等とのネットワーク機能の活用>

◎ 民間企業と連携した「地球温暖化防止活動」の普及啓発事業【環境生活部】

本道の環境保全に貢献したい企業の資金を、北海道環境財団が実施する地球温暖化防止活動への支援に結びつけ、財団との連携、協力を図りながら、本道の環境の保全に取り組む。

□ 経済政策に係る知識融合の場の設置【経済部】

小樽商科大学教員等と道職員が合同で、道内経済の現状・課題の把握や分析などを行う交流＝知識融合の「場」を設け、北海道経済の研究に携わる大学教員等の政策課題に対する関心喚起と、政策実務に携わる道職員の政策形成・実効力の向上を図る。

□ 省エネルギー・新エネルギー機器の導入促進事業【経済部】

集客力の高い地域の商業施設等と連携し、機器導入に関する情報提供などの支援を行い、省エネルギーの促進、新エネルギーの導入を図る。

□ 産業分野への雪氷エネルギー導入促進事業【経済部】

雪氷エネルギーの利活用に取り組んでいる国、市町村、関係機関などと連携し、産業分野への雪氷エネルギー導入の促進を図る。

□ Hokkaido Bee Project（通称「赤れんがはちプロJ」）【農政部】

道庁屋上に蜂群を設置し、養蜂事業が果たす自然や農業の関わりについて理解の醸成を図るとともに、行動展示や生産物を利用し、食育を推進する。

◎ 先進林業機械の導入・改良事業成果等の道内への着実な波及促進【水産林務部】

低コスト作業システムの確立を目指し、部内関係課及び道森連、機械化協会、担い手支援センターなどの関係機関をメンバーとする連絡会議を設置し、傘下団体及び関係者等を通じ、先進林業機械の導入・改良事業の成果の普及を図る。

◎ みどりのポイント事業【水産林務部】

各種イベント等の参加者に付与する「みどりのポイント」制度を創設し、獲得ポイントにより、認定書の交付や道のHPにおける公表を行うとともに、協賛事業者から副賞を交付し、緑化活動の定着化や自立した活動の促進を図る。

◎ つながる！ 空知子どもの読書活動【教育庁】

空知管内の読書活動関係者を構成員とする「空知子どもの読書活動推進会議」を設置して、読書活動関係者間の連携を図り、管内における子どもの読書活動を推進する。

◎ 青函観光パネル・ポスター展「青森へ行こう」【渡島総合振興局】

平成27年度末の北海道新幹線新函館（仮称）開業により、さらに身近となる青森県の魅力を広く発信するため、青森県などと連携しながら、道南各地で観光パネル・ポスター展を開催する。

（注釈）

◎：新規事業

□：拡充事業や継続事業

2 道民・企業等との協働の推進

限られた財源・人的資源の中で、今後とも行政サービスの質の向上を図るためには、民間企業や住民などが「公共」の担い手となり、官民が連携した取組を進め、より厚みや広がりのあるサービス提供を可能とする仕組みを構築していくことが必要です。

このため、民間企業等から事業提案等を募集し、事業化するタイアップ事業や民間からの寄附金等を活用した政策展開を引き続き推進するとともに、包括連携協定を締結した民間企業等との協働事業の実施など、多彩な協働事業を展開します。

◇民間企業等とのタイアップ事業の推進等

民間企業等が有する資源（アイデア、ノウハウ、資金等）を公共サービスの充実や道政の効率化に結びつけるため、民間企業等とのタイアップ事業の推進などに取り組む。

<タイアップ事業の募集提案の内容>

提案する企業等自らが事業の実施・協力主体となる以下の提案

① 特定の政策テーマに関する事業提案

現在、道が要綱等を定めて民間企業等との協働を呼びかけている事業への参加登録等と具体的な活動内容についての提案

② 協働に向けた協力・支援等に関する事業提案

道が民間企業等との協働により効果の拡大が期待できる政策分野から、民間企業等が自ら選択して、社会や地域への貢献を念頭に道行政に対する支援や協力等の内容を含んだ事業の企画提案

③ 複数の政策分野にわたって道との協働を推進する提案

上記①～②の視点で複数の政策分野について、道と包括的かつ継続的に協働して事業を展開する企画提案

<民間からの寄附金等を活用した政策展開>

「ふるさと納税」などによる寄附を活用した政策展開

- ・寄附者の意向等を踏まえ、環境問題に対する取組や森林づくり、振興局と地域が協働で実施する地域重点プロジェクトの推進に向けた取組等に活用

◇民間企業等との包括連携協定締結による協働事業の実施

民間企業等からの提案に基づき、複数の政策分野にわたって北海道と協力関係を構築し、連携・協力に関する協定を締結した上で、具体的な事業を協働で実施する。

【道と民間企業等との連携協定】

締結企業等名	締結年月	取組分野
伊藤忠商事（株）	H18. 12	「食産業の振興」「観光の振興」「中小企業・ベンチャー企業の創業、育成、事業拡大の支援」など
サッポロビール（株）及び サッポロホールディングス（株）	H19. 2	「食の北海道ブランド創出」「魅力ある観光の振興」「豊かな環境の保全」「暮らしの安全・安心や健康づくり」など
雪印メグミルク（株）	H19. 10 H22. 3改訂	「酪農の振興」「食の安全・安心、産消協働」「子育てや健康づくり」「魅力ある観光の振興」など
留萌信用金庫〔留萌振興局〕	H20. 1	「留萌に根ざした事業創出」「留萌の豊かな『食』」「留萌の魅力ある観光の振興」「地域の人材育成」など
（株）セイコーマート	H20. 1	「暮らしの安全安心」「食の安全・安心、産消協働」「環境保全」「障がい者の自立支援」「観光振興」など
（株）ローソン	H20. 2	「災害時の支援」「『食』の振興」「自然環境の保全や生活環境対策」「各種イベント開催への協力・支援」など
（株）セブンイレブン・ジャパン、 （株）イトーヨーカ堂	H20. 7	「暮らしの安全・安心」「道産品の販路拡大」「就労支援」「食育や子育て支援」「観光振興」「環境保全」など
（株）北洋銀行	H20. 8	「北海道国際ビジネスセンターの活動支援」「企業誘致」「中小企業の取引拡大と新技術・新製品開発の支援」など

(株) 北海道銀行	H20. 9	「北海道国際ビジネスセンターの活動支援」「企業誘致」「中小企業の取引拡大と新技術・新製品開発の支援」など
(株) 三井住友銀行	H20. 9	「北海道国際ビジネスセンターの活動支援」「道内企業等の貿易など海外との経済交流促進」など
生活協同組合コープさっぽろ	H20. 11	「植樹・育樹」「森林体験企画」など
(株) サークルKサンクス	H21. 2	「暮らしの安全・安心」「食の振興」「観光振興」「就労支援」「食育や子育て支援」「環境保全」など
旭川大学・旭川大学女子短期大学部〔上川総合振興局〕	H21. 3	「地域活性化に向けた各種政策の立案・実施」「地域の人材育成」など
大地みらい信用金庫（根室振興局）	H21. 7	「新規事業の創出」「地元企業の販路拡大」「食・観光のブランド化」など
日高信用金庫（日高振興局）	H21. 7	「新規事業の創出」「地元企業の販路拡大」「日高地域のブランド化」など
楽天（株）	H21. 7	「情報発信」「ITを活用した販路拡大」「地域産業のIT利活用促進」「環境保全」など
イオン北海道（株）	H21. 12	「環境行動を実践するまちづくり」「安全・安心なまちづくり」「ぬくもりあふれる共生のまちづくり」など
室蘭信用金庫、苫小牧信用金庫及び伊達信用金庫（胆振総合振興局）	H22. 9	「新たな産業の創出」「食や観光、地域産品のブランド力向上」「地元企業の販路開拓や取引機会の拡大」など
日本ハム（株）	H23. 2	「食の振興」「科学技術の振興」「魅力あるスポーツと観光の振興」「活力ある地域づくり」など

平成23年度に包括連携協定締結企業と実施する主な協働の取組

■ 強い経済・安定した雇用づくり

□ 道産食材のブランド化に向けた協働の取組【サッポロビール(株)・経済部・各振興局】

夏の札幌大通ピヤガーデンやサッポロファクトリーで開催するイベントのほか、東京都内で開催するイベントなどで道内各地の食材をPRする。また、道内外の外食産業に向けた商談会を共催するなど、道産食材のブランド化に向けた取組を協働で実施する。

□ 花いっぱい促進事業【雪印メグミルクグループ・経済部】

「赤れんが庁舎前庭」に花壇を設置することにより、年間約40万人が訪れる観光スポットである「赤れんが庁舎」の魅力向上と、北海道の花観光の振興に向けた取組を協働で実施する。

□ ベンチャーシーズ・マッチング事業【伊藤忠商事(株)・経済部】

道内の中小企業の魅力的な商品を、伊藤忠商事(株)と北海道中小企業総合支援センターが協働で掘り起こし、伊藤忠グループのネットワークを通じて販路を開拓するとともに、マーケティングをアドバイスするなど、中小企業がより一層魅力的な売れる商品づくりに役立てる取組を協働で実施する。

□ 北洋銀行ものづくりテクノフェアの開催【(株)北洋銀行・経済部】

優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関等が一堂に会する場を提供し、販路拡大や企業間連携の促進、情報交換や技術交流を通じて、北海道のものづくり産業の振興を協働で図る。

□ 「北海道の『食』特別商談会」の共同開催【(株)北海道銀行・経済部】

道内の一次産品取扱企業、食品加工業者、食品・飲料メーカーの道外への販路拡大の支援を目的に、全国のスーパー、百貨店等のバイヤーを招聘して開催する商談会を協働で実施する。

□ 道内各地におけるeコマース・セミナーの開催【楽天(株)・経済部】

地域におけるIT利活用、特にeコマースの普及啓発を進め、地域の特産品の販路拡大に寄与するとともに、地域ブランドの形成に役立てるため、道内各地において、中小企業等を対象としたeコマース・セミナーを協働で開催する。

□ 北海道ナチュラルチーズの製造技術向上に向けた研修の共催【雪印メグミルク(株)・農政部】

道内のチーズ工房を対象に、ナチュラルチーズ製造に係る品質・衛生管理、製造技術の向上とともに、地域におけるネットワークづくりなどを目的とした研修を、大手乳業メーカーとしてチーズ製造の豊富なノウハウ・人材を有する雪印メグミルク(株)と協働で実施する。

◎ ビッセ・マルシェの開催（生産者と消費者の交流事業）【㈱北洋銀行・農政部】

北洋銀行大通センタービル（ビッセ）周辺を活用し、若手を中心とした農業者がマルシェの開催を通じて多様な取組を情報発信することにより、本道農業に対する都市消費者の理解の促進を図る「生産者と消費者の交流事業」を協働で実施する。

◎ 「北海道HACCP」の普及・啓発の取組【㈱イトーヨーカ堂・保健福祉部】

北海道HACCP自主衛生管理認証制度の普及・啓発を図るため、㈱イトーヨーカ堂の店舗において、認証制度をPRするイベントを協働で開催する。

□ 「食の安全見てみ隊、学び隊」の開催【イオン北海道㈱・保健福祉部】

食の安全確保に対する理解の普及・促進を図るため、イオン北海道㈱の店舗において、児童及びその保護者が食の安全について体験するイベントを協働で開催する。

■ 環境のフロントランナー・文化力づくり

◎ 木育の普及・啓発に関する取組【㈱イトーヨーカ堂・水産林務部】

木育の普及・啓発を図るため、㈱イトーヨーカ堂の店舗において、木育遊具で遊ぶ「木育ひろば」の設置や木工体験など木育をテーマとしたイベントを協働で開催する。

□ 北海道キッズ・チャレンジスポーツプロジェクト【㈱セイコーマート・教育庁】

■北海道体育協会が実施している北海道スポーツ少年団を対象にした各種の取組を支援するなど、スポーツ活動を通じた子どもの体力の向上や青少年の健全育成を図る取組を協働で実施する。

◎ 地域での環境保全活動に向けた協働の取組【サッポロビールグループ・根室振興局・釧路総合振興局】

サッポロホールディングス㈱と同社の株主からの寄付により、根室・釧路地域において、シマフクロウや野鳥が棲める森づくりの活動を行う団体が実施するエゾシカ食害対策などの育樹（苗木保護）活動等を協働で支援する。

■ 活力ある持続可能な地域づくり

□ 地域の観光パネル・物産展示会等の開催【室蘭信用金庫・苫小牧信用金庫・伊達信用金庫・胆振総合振興局】

胆振地域の豊かな観光資源、地域資源を活用した食品などの加工品を周知するため、信金の札幌支店及び管内各信金支店で展示会を開催する。

◎ 地域の人材育成の取組への協力事業【雪印メグミルクグループ・留萌振興局】

留萌地域の高校生を対象とした特別授業に雪印メグミルクグループが講師を派遣し、講義や実験等の実施を通じて、第一線の研究者・技術者の世界に触れる機会の提供を協働で実施する。

□ 地域の事業創出に関するセミナーの開催【留萌信用金庫・留萌振興局】

留萌に根ざした事業の創出を目指し、地域活性化や事業創出などをテーマにした管内企業向けのセミナーを協働で開催する。

□ 大雪カムイミントラ・フェア展開事業【イオン北海道㈱・上川総合振興局】

イオン北海道㈱の店舗において、大雪山の自然や上川中部地域の見どころや食べ処を紹介するフェアを開催し、上川中部地域のイメージの発信と上川中部地域で開催予定の大雪カムイミントラ・スタンプラリー事業のPRを協働で実施する。

□ セイコーマート「北海道牛乳」のふるさとを訪ねてみよう！（食育推進事業）

【㈱セイコーマート・宗谷総合振興局】

グリーンツーリズム型の体験ツアーにより、都市で生活する子ども達を対象に「命の尊さ」や「食べ物大切さ」を知ってもらう「食育推進事業」を協働で実施する。

◎ 地域食材販路開拓モデル構築事業【サッポロビール㈱・根室振興局】

販路開拓モデルに取り組む根室地域の事業者を、サッポロビール㈱が消費地の飲食店へ引き合わせることで、地域食材の販路拡大と地域イメージのPRを協働で実施する。